



第38回上田八木・金融政策サーベイ(2020年10月)

発表日：2020年10月27日 14:00 上田八木短資株式会社

調査日	2020年10月22日～26日
調査先	169先
回答率	88.8%

(Q1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合(10月28日～10月29日)における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回9月15日)	変化幅
緩和	0 (構成比%)	1	▲1
不変	100	99	+1
引締	0	0	±0
上田八木・金融政策インデックス (「引締め」-「緩和」構成比%)	0	▲1	+1

(Q2) 3か月先の「無担保コールON金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回9月15日)	変化幅
低下	10	1	+9
不変	88	91	▲3
上昇	2	8	▲6
短期金利予想DI	▲8	7	▲15

(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回9月15日)	変化幅
低下	0	1	▲1
不変	99	97	+2
上昇	1	2	▲1
2年国債金利予想DI	1	1	±0

(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回9月15日)	変化幅
低下	3	3	±0
不変	91	93	▲2
上昇	6	4	+2
10年国債金利予想DI	3	1	+2



第38回上田八木・金融政策サーベイ(2020年10月)の結果について

～全回答者(150先)が今回のMPMでの政策変更なしとの見方。3か月先の無担保コールON金利予想では、「低下」の見方が増加、「上昇」の見方が減少した。

2020年10月27日
上田八木短資株式会社

【調査の総括】

- 全回答者(150先)が今回のMPMでの政策変更なしを予想。
- 3か月先の無担保コールON金利予想では、「低下」の見方が増加(1%→10%)し、「上昇」の見方が減少(8%→2%)した。
- 3か月先の10年国債金利の予想では、「上昇」の見方が増加(4%→6%)した。

【調査の概要】

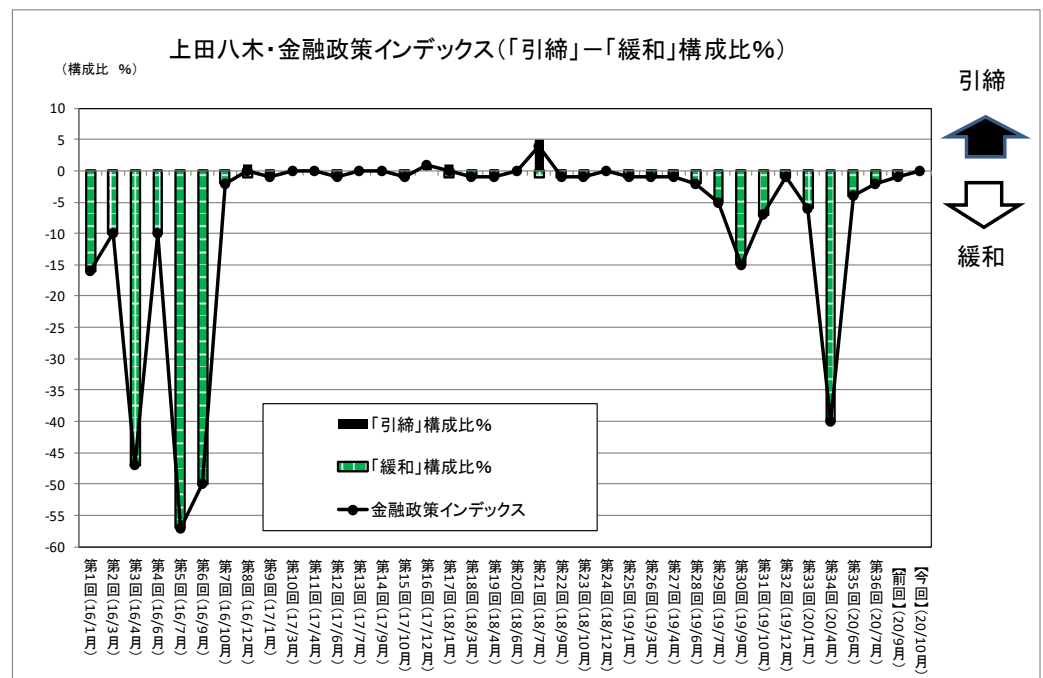
調査対象	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者(169先)
調査内容	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し
調査方法	2020年10月22日～23日、26日の3営業日間、電話等によるヒアリングにより実施
回答率	88.8% (回答者数150先<Q1における回答者数>)

【調査結果】

(Q1)日本銀行の次回の金融政策決定会合(10月28日～10月29日)における決定について

回答者の100%が「不変」の見方。「緩和」「引締」は0%。

上田八木・金融政策インデックス(「引締」-「緩和」構成比%)は、「0」(前回は▲1)であった。



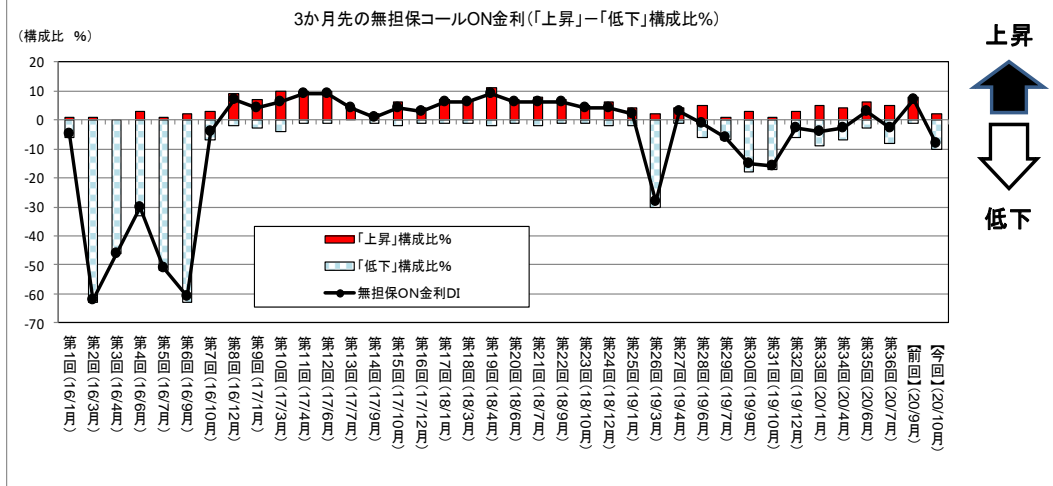
(Q2) 3か月先の「無担保コールON金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の2%が「上昇」を予想、10%が「低下」を予想、「不変」とみている先は88%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は▲6%ポイント(前回8% → 今回2%)。

「低下」とみる先は+9%ポイント(前回1% → 今回10%)。

「不変」とみる先は▲3%ポイント(前回91% → 今回88%)。



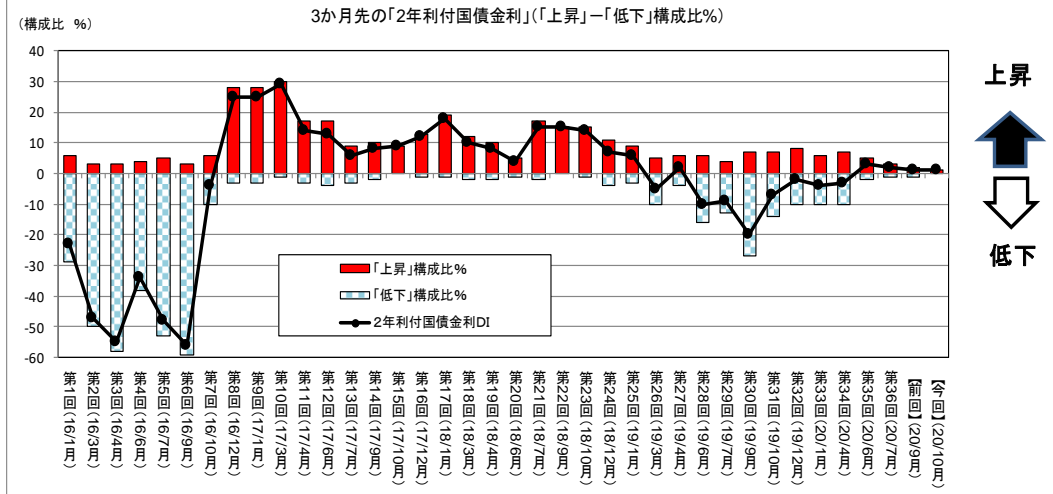
(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の1%が「上昇」を予想、「低下」予想は0%、「不変」を予想した先は99%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は▲1%ポイント(前回2% → 今回1%)。

「低下」とみる先は▲1%ポイント(前回1% → 今回0%)。

「不変」とみる先は+2%ポイント(前回97% → 今回99%)。



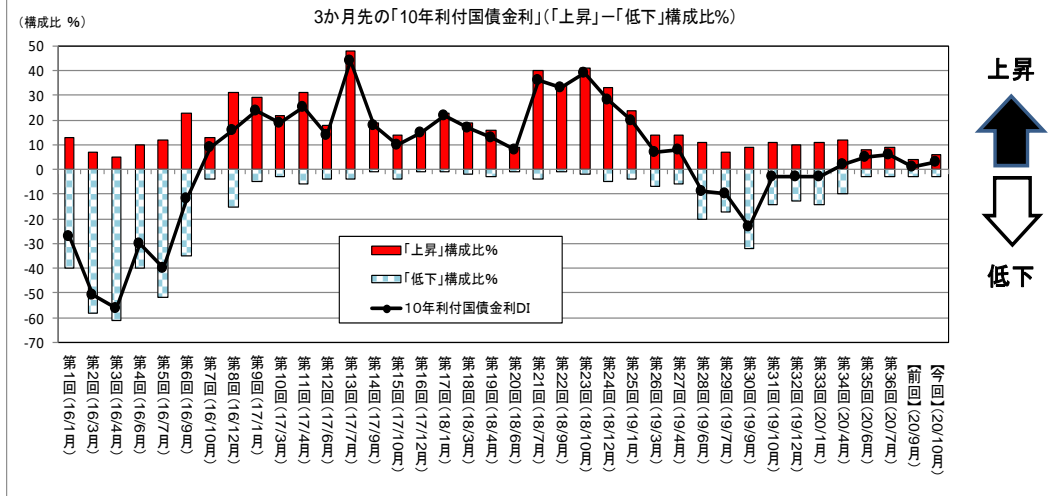
(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の6%が「上昇」を予想、3%が「低下」を予想、「不変」を予想した先は91%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は+2%ポイント(前回4% → 今回6%)。

「低下」とみる先は±0%ポイント(前回3% → 今回3%)。

「不変」とみる先は▲2%ポイント(前回93% → 今回91%)。



【本調査に関する照会先】 企画部 島本、嶋瀬 (電話 03-3272-0293)